

『新版 東洋医学概論』第1版1刷の訂正

『新版 東洋医学概論』第1版第1刷(2015年4月20日発行)におきまして、以下の誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに訂正いたします。

『新版 東洋医学概論』第1版 第1刷の訂正

(2016年3月15日)

頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
4	上から11行目	前漢に実在した倉公（淳王意）	前漢に実在した倉公（淳于意）
7	下から3行目	『備急千金翼方』（孫思邈）	『千金翼方』（孫思邈）
17	上から10行目	経絡の虚実に対する補瀉の法を本治法とし、それ以外の症状に対する対症療法的治療を標治法とする独特の概念である。	精気の虚を補うことと、それに伴う関連臟腑経絡への実熱の波及に対する補瀉を本治法といい、患者の主訴などに対して局所を補瀉することを標治法という。
36	参考文献の13	六燃社	六然社
54	下から7行目	a. 滋潤・濡養*する	a. 滋潤・濡養（じゅよう）*する（「濡」に読み仮名を記載）
94	上から11行目	糟粕（とうはく）	糟粕（そうはく）
95	上から7行目	実熱であるため、舌質紅となり、舌黄となる。	実熱であるため、舌質紅となり、舌苔黄となる。
178	(5) 基礎病態と関連する伝変と波及の図	気虚と⑫の間の⑪	<p>①を⑫に修正</p>
261	「C. 祖脈」の*の1行目	祖脈という言葉は『鍼灸重宝記』に初見され、…	祖脈という言葉は『鍼灸拔萃』（喜運院子苜、1676年）に初見され、
264	表4-10内「左手 臟腑」の列上から3行目	腎（小腸）	腎（小腹）
267	参考文献の13	（追記）	木戸正雄. 脈診習得法（MAM）－だれでも脈診ができるようになる－. 医歯薬出版. 2013.
317	古典・医書リスト	（追記）	鍼灸拔萃 喜運院子苜 1676年